

DIY活用事業

地域で長年活躍されていた大工さんを講師に、道具の使い方や簡単な技術を学び、作りたいものをイメージし、設計する「DIY活用講座」を開催。地域の子どもたちも参加して、まずは**道具の特性を知り、道具を使ってみる。それを繰り返し、イメージを膨らませ、自分の作りたいものを考え、形にすることを続けていきます。**2回行った講座では、箱浦ビジターハウスの三豊特産品販売所「紫雲の里 竜宮」で使用する棚を制作しました。設置する場所にあわせたサイズなので、販売している商品がお客様からよく見えて、手に取りやすくなりました。



まちの魅力づくり 発信拠点事業 第13回 箱裏マルシェ 令和2年12月6日(日)

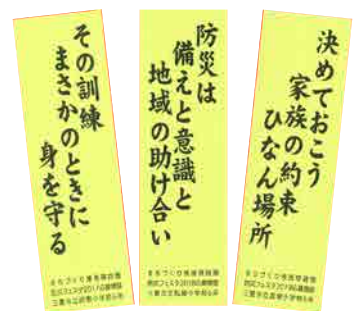
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら、箱浦ビジターハウスにて、第13回箱裏マルシェを開催しました。みとよの美味しいがいっぱい集まった恒例のイベント。新鮮野菜・魚・牡蠣をはじめ、三豊特産品が並び、たくさんの人で賑わっていました。皆さんの笑顔とマルシェを楽しんでいる姿で地域が元気になっていると感じられる一日でした。



防災・減災標語を町内のご家庭に配布

安全度向上部会では、防災・減災意識啓発推進事業として2017~2019年の間において防災・減災標語を町内大浜、詫間、松崎小学校の6年生の学童にお願いし、力作を寄せていただきました。3年間で寄せてくださった作品は281本で、いずれも英知光る秀作です。その中から最優秀賞に輝いた3本を短冊に仕上げ、皆さまにお届けしました。ここに紹介させていただきます。

力作を寄せてくださった学童の皆さんを顕彰するとともに、今後発生するであろうと言われている災害時に、この標語を思い出し「いのちを守る」行動を起こしてくださると確信しております！



命を守る防災

今年度のまちづくり事業における自主事業の一つとして、自主防災活動の推進があります。その一環として、防災・減災に関するイベント「たくま防災フェスタ2020」を開催する予定でしたが、ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の流行により、自粛を余儀なくされ中止といたしました。

しかし、こうしたコロナ禍において「新しい生活様式」が謳われ、ソーシャルディスタンス、3密を意識し、参加人数を考慮しながら、「命を守る防災」ウィズコロナ・アフターコロナの中で実行できる催しを開催いたしました。実行委員の皆様を中心に42名の方が段ボール、簡易テントを活用し、避難所での区画設営などの実技を学びました。



ダンボール箱・簡易テントの設営

簡易ベッドの組立方を学ぶ

里山に登ろう!



里山ハイキングマップ第一弾！が出来ました！絶景、多島美、里山ハイイク。詫間町の里山が素晴らしいのは、どの山からも絶景の多島美が眺められるところです。第一弾は、博智山、塩生山、高尾木山。初心者でも気軽に登れる山もありますので、マップ片手に登ってみてはいかがでしょうか。健康度向上部会では、地元の方々とともに里山を整備しながら、景観づくりをしています。また、詫間町の里山を町内の子どもたちや地域内外の人たちに広め、故郷の景色として末永くとどめていきたい。この里山マップの完成を聞きつけた近隣町内の方々が、博智山、塩生山、高尾木山の登山を目指してくださり、大きな反響を呼んでいます。



※本年は、新型コロナウイルス感染症のため、健康講演会開催は中止となりましたが、ソーシャルディスタンス、3密を考慮しながら、ラジオ体操、ウォーキングなどの呼びかけをし、多くの参加者が集っています。毎月第2週、第4週の火曜日午前中、町内全域を歩きぬこうと、時には町外市外へと広がる勢いです。